

大阪市立大学 同窓会 報

第 6 号

発行：大阪市立大学同窓会

http://www.osaka-cu.net/

〒558-8585 大阪市住吉区杉本3丁目3-138
大阪市立大学 田中記念館 有恒会事務局 TEL:06-6605-2087

新年のごあいさつ

市大卒業生の皆さん、新年明けましておめでとうございます。
皆さんにおかれましては、新年を健やかに迎えられることと思います。この一年が皆さんにとってどうかよい年であり、ますように願っています。



大阪市立大学同窓会
会長 兎玉隆夫

以下にそれらについて述べさせていただきます。

広報の新たな展開を目指す

広報活動としては、この同窓会報を今後も毎年定期的に三回発行し、全国各支部をはじめすべての卒業生にお届けします。今後はさらに記事内容の充実を図って行きたいと思っておりますが、そのためには全学同窓会として統合された会報の実現を今期のうちに目指したいと思っております。統合された同窓会報をすべての卒業生に届けることができ、義を皆さんに感じてもらうものと思っております。

七月ごろには工事が終了する予定と伺っています。完成すれば記念館の三階のフロアすべてが同窓会で使えることとなります。全学同窓会をはじめ各支部等の同窓会も一堂に会することができ、より緊密な連携の下での運営が行えます。これは市大同窓会にとって非常に大きな節目となることでもありますので、これを機に是非とも同窓会報の統合も図りたいと思っております。

五代友厚の銅像建立

最後に五代友厚の銅像建立についてです。五代は言うまでもなく大阪市立大学の前身、大阪商業講習所の設立に中心的な役割を果たした人です。

銅像の建立やミュージアムの設置に必要な原資は寄付によるほかありませんので、全学同窓会として全力を挙げてこれに取り組む所存です。このことにつきましても皆様方のご協力を是非ともお願いしたいと思います。本年もどうぞよろしくお願いたします。

全学同窓会結成3年、「完成」の年に向けて 大学、在学生支援に全力

いよいよ「完成年度」へ

全学同窓会も結成されて三年目を迎えました。役員も二期目となり、一部に入れ替えがあったものの、ほぼ同じメンバーで今期も務めさせていただきます。どうぞよろしくお願いたします。

今期の二年を終了した時点で全学同窓会は発足して四年を終了いたします。

年次進行とともに活動費が整備されていく現在の方式では四年目で活動費もフルとなる、言わば「完成年度」を迎えます。このことを念頭において、同窓会活動全体としての形もこれらの二年間で整えていかなければならないと考えています。

柱は在学生への支援です。これまで公務員や教員を志望する学生に対して、それぞれの分野で活躍している卒業生の協力を得て、いろいろとアドバイスをいただく場を設けてきました。また、海外へ挑戦しようとする学生への支援も経験者の協力を得て行ってきました。

各学部等の同窓会が卒業生の親睦を第一としているのに対して、全学同窓会では大学および在学生への支援と全国にある各支部の活性化を主な目的として活動を行ってまいりました。これまでの二年間である面で、それぞれの形が定着しつつあり、また、別の面では課題が見えてきたように思います。



平成 27年

各学部等の同窓会が卒業生の親睦を第一としているのに対して、全学同窓会では大学および在学生への支援と全国にある各支部の活性化を主な目的として活動を行ってまいりました。これまでの二年間である面で、それぞれの形が定着しつつあり、また、別の面では課題が見えてきたように思います。

同窓の受章

おめでとうございます

平成26年秋の叙勲

旭日大綬章

坂根正弘 氏



大阪市立大学工学部昭和38年卒業、元コマツ社長、現コマツ相談役(特別顧問)。現在、政府関係の「産業競争力会議」「まち・ひと・しごと創生会議」等のメンバーに名を連ねる。同氏の執筆「私の履歴書」が平成26年11月から1カ月にわたり日本経済新聞に連載。

オランダ国王から勲章

オラニエ・ナッソー勲章オフィサー章

尾山基 氏



大阪市立大学商学部昭和49年卒業、現有恒会会長、現大阪市立大学同窓会副会長、現アシックス社長。現在、日本スポーツ産業学会会長。

大阪市立大学 夢 基金 —ご協力のお願い—



大阪市立大学
理事長兼学長
西澤良記

平素より大阪市立大学の教育研究活動へご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。皆様ご承知の通り大阪市立大学は我が国最初の市立大学であり、本年で創立135周年を迎えます。公立大学としては最も歴史がある最大規模の総合大学の一つです。前身の大阪商科大学の開学にあたって、当時の大阪市長・関一は、「都市・大阪を背景とした学問の創造」を目指す大学として「国立大学のコピー(コピー)であってはならぬ」と述べました。この言葉は現在も本学の建学の精神として脈々と引き継

グローバルに活躍できる 夢ある人材育成のために

がれています。このたび、広く学内外の皆様からのご支援を仰ぎ、「大阪市立大学夢基金」を設立し、広く世界に貢献する人材の育成や、より高度な研究の推進とその成果の社会への還元、高水準の教育研究を進展する施設基盤の充実等を進めることといたしました。

尚、本基金の前身である「大阪市立大学はばたけ夢基金」は昨年9月を持って終了いたしました。おかげをもちまして、7億5000万円を超える総計となりました。長きにわたりご支援を賜り感謝申し上げます。

卒業生の皆様におかれましては、本学の展開にご注目いただきますとともに、何卒「大阪市立大学夢基金」の趣旨をご理解いただき、お力添えを賜りますようお願い申し上げます。

夢基金の実施要領

1

目的及び活用

- 大阪市立大学が行う教育・研究・地域貢献・医療など諸活動に資することを目的としています。
- 基金の一部は「積立金」として運用し、一部は「事業資金」として単独または大学の他の資金と併せて下記事業に活用します。

- 1) グローバル人材の育成
- 2) キャンパス施設・環境整備
- 3) 教育・研究・医療環境の充実

2

寄付の申し込み並びに税法上の優遇措置

- 大学指定「ゆうちょ銀行」払い込み及び銀行振り込み等、その他大阪市立大学夢基金ホームページからも申し込みできます。(詳細は事務局へ照会願います)
- 寄付金は受領書を添えて確定申告すれば、税法上の優遇措置として寄付金控除が可能です。

3

その他

- 大学では、寄付金に対し「感謝の気持ち」として顕彰制度を設けています。

「新・公立大学」 大阪モデル (基本的な考え方)

昨年4月、大阪市長より大阪府大との統合問題に関し、両大学で主体的に大阪における公立大学のあり方について検討することの指示がありましたことは前号でお知らせしました。その後、両大学で検討を行い、その基本的な考え方を取りまとめた概要は次の通り。

1. 都市大阪の公立大学に求められるもの

- 1) 大阪のグローバルな発展を牽引する存在をめざす。
- 2) 大阪における複層的課題に対応する「地」の拠点として大阪の発展を牽引するため、地域課題解決型の公立大学をめざす。

2. 両大学のリソース

統合により、文系から理系・医学・獣医学分野まで持ち、総合性があり、突出した規模を持つ公立大学が誕生する。両大学の有するリソースを最大限に活かすことにより、教育力、研究力及び地域貢献力の向上が図られ、新たな公立大学のモデルとして、大阪の発展を牽引する。

3. 新大学のめざすもの

- 1) 大阪を牽引する、グローバル人材の育成を行う。
- 2) 先端研究、異分野融合研究に重点的に取り組む。
- 3) 大阪の課題に積極的に取り組む。

4. 新大学のめざす教育研究組織及び運営基盤

新大学の開学に合わせ、都心部に象徴となるグローバルキャンパスを展開する。

5. 新大学の都心拠点

新大学の開学に合わせ、都心部に象徴となるグローバルキャンパスを展開する。

6. 新大学の貢献

- 1) 地域貢献として日本の成長エンジンとして持続的に発展する大阪—大学が創る大阪のリバイタリゼーションをめざす。
- 2) 新大学では、両大学の持つ資源を最大限活用し、研究領域の広がりにより領域の垣根を越えた融合研究が展開できることになり、新たなイノベーションを創出し、更なる大阪の発展に貢献する。

7. 新大学の実現に要する期間

両大学を統合した新大学の設置は、戦後の大学史の中でも稀に見る規模のものであり、適切なステップを踏みながら、進めていく必要がある。

8. 新大学へ向けた当面の連携強化

- 1) 両大学は、歴史、伝統、校風、展開分野の違いがあるものの、教育、研究、さらには地域貢献において、大阪に向かう志向性には類似したものがあり、これまで、それぞれの分野で連携事業を推進してきた。
 - 2) 現在の両大学の教育組織をベースに更なる連携強化を進める。
- (編集部)

イノベーションジャパン2014 に出展

恒例の展示会が9月11日～12日にわたり東京ビッグサイトで開かれた。本学からの出展4点は次の通り。

- 1) 医療分野：
テーマ「多機能OCTを用いたマイクロ断層診断法～皮膚・軟骨・複合材料等への応用」
(工学研究科・佐伯准教授)
- 2) 装置・デバイス分野：
テーマ「過熱水蒸気の利用技術向上のための蒸気・空気混合比の測定装置」
(工学研究科・伊與田准教授)
- 3) 低炭素・エネルギー分野：
テーマ「多機能エネルギーセンサーによる革新的省電力ソリューション技術の開発」
(工学研究科：辻本教授)
- 4) ライフサイエンス：「miRNAプロファイルモジュレーションシステムの開発」
(工学研究科・立花准教授)

11日午後6時から西澤学長、大嶋副学長(産学連携担当)、辻本教授等を囲んで同窓会東京支部有志を中心に懇親会が開催され、参加者28名が自己紹介、最近の話題などで会場は盛り上がった。(編集部)

第13回 ホームカミングデー

11月3日(月)午後1時、学術情報総合センター10階の大会議室にて、大学主催のホームカミングデーの集いが開かれ、200余名が参加した。

オープニングセレモニー

最初に、大阪市立大学理事長兼学長の西澤良記氏の挨拶があり、特に、大阪府大との統合問題に関連し、大阪府大との共同作業として「新・公立大学」大阪モデル(基本的な考え方)について詳細なる説明(別途参照)があった。

また、大阪市立大学夢基金に關し、「平成21年10月1日より募集していた『大阪市立大学はばたけ夢基金』は平成26年9月30日をもって終了しました。皆様より賜った寄付金はおよそ7億5000万円であり、現在実施されている事業を継承するためにも、平成26

年10月1日に『大阪市立大学夢基金』を設立いたしました。本基金の趣旨をご理解いただき、一層お力添えをお願いしたい」との要請があった。寄付者銘板が紹介されたあと、基金の支援により留学することが出来た学生による報告があった。

つぎに、大学祭実行委員会第64代委員長の理学部3回生近藤雅典君から「今回の銀杏祭のテーマは異次元トリップです。学内、学外の方々に『異次元』を旅行するように見返してもらいたい」との思いで名づけました」との挨拶があった。

記念講演会

講師は藤沢久美氏(生平1卒)。現在、シンクタンク・ソフィアバンク代表として活躍する傍ら、法政大学ビジネススクール客員教授、世界経済フォーラム(ダボス会議)ヤンググローバルリーダー、グローバルアジェンダカウンシルメンバー等の様々なキャリアを通じて、世界中を飛び回っ

ておられる。テーマは「今、世界で求められる人材とは」。自らの豊富な経験から得たエピソードを中心に講演された。講演要旨は次の通り。



11月1日から4日にかけて、大阪市立大学では銀杏祭が開催された。第64回目となる今回のテーマは「異次元トリップ」である。ステージや教室で行われる企画、模擬店等普段の学校生活とは違った楽しさ溢れる銀杏祭を「異次元」に見立て、その「異次元」へと小旅行に出かけるような気分

第64回 銀杏祭開催

11月1日から4日にかけて、大阪市立大学では銀杏祭が開催された。第64回目となる今回のテーマは「異次元トリップ」である。ステージや教室で行われる企画、模擬店等普段の学校生活とは違った楽しさ溢れる銀杏祭を「異次元」に見立て、その「異次元」へと小旅行に出かけるような気分

で気軽に訪れてほしいという思いから付けられたというこのテーマ。その言葉の通り当日は学内外問わず多くの人が市大に訪れ、終始活気に満ちたものとなった。銀杏祭1日目の始まりを盛り上げたのは仮装パレードである。当初は外で行われる予定であったが、あいにくの雨により場所は第一体育館へと変更となった。



しかしながらそんな悪天候も吹き飛ばすかのようなアイデアとユーモア溢れる学生たちの仮装姿に、場内は大いに盛り上がりを見せた。2日目はお笑い芸人のスーパーマラドーナを司会に招いてのステージや、声優の新井里美さんによる講演会、インディーズバンド

を招いた音楽ステージなど非常に豪華なものとなった。その他にもMiss OCU Contesが行われたりと、見たいものが多すぎて迷ってしまう。4日間を通して、「異次元」という言葉にふさわしく、ユニークで普段の生活

しまった人も多いのではないだろうか。またまた盛り上がりを見せる3日目は、外部からアイドルやプロのアティーストを呼んだステージ企画があり、一般の方々も多く市大に訪れた。銀杏祭は学生と地域の人々が交流することのできる貴重な機会でもある。子どもから大人まで、たくさんの方が同じステージや企画を見て楽しむことができた。

そして銀杏祭最終日。名残惜しい気持ちを抑え銀杏祭を締めくくったのは、後夜祭ファイヤーフェスティバルである。三つの軽音楽サークルによる迫力あるライブによって、大歓声の中第64回銀杏祭は終わりを告げた。

ホームカミングデー参加行事の一環として、新クラ(大阪市大新聞OB会)主催、学生メディア団体「Hijicho」の協力でボランティア団体「水の声」代表の南茂さんによる講演会「大和川の源流をたずねて」が開催された。

講師の南さんは大和川の源流を探求する活動のほか、大和川の清掃や創作阿波踊りによる老人ホームへの慰問活動など幅広い活動に取り組まれている。講演は大和川の河口である大阪湾から上流に向かって遡りながら進められた。大和川に関連する逸話や名所、お祭りなどの文化について、時に即興の詩歌を織り交ぜながら紹介され、集まった人々からは時折笑みがこぼれるなど会場は終始楽しげな雰囲気であった。

講演は大和川の河口である大阪湾から上流に向かって遡りながら進められた。大和川に関連する逸話や名所、お祭りなどの文化について、時に即興の詩歌を織り交ぜながら紹介され、集まった人々からは時折笑みがこぼれるなど会場は終始楽しげな雰囲気であった。

講演は大和川の河口である大阪湾から上流に向かって遡りながら進められた。大和川に関連する逸話や名所、お祭りなどの文化について、時に即興の詩歌を織り交ぜながら紹介され、集まった人々からは時折笑みがこぼれるなど会場は終始楽しげな雰囲気であった。

講演は大和川の河口である大阪湾から上流に向かって遡りながら進められた。大和川に関連する逸話や名所、お祭りなどの文化について、時に即興の詩歌を織り交ぜながら紹介され、集まった人々からは時折笑みがこぼれるなど会場は終始楽しげな雰囲気であった。

講演は大和川の河口である大阪湾から上流に向かって遡りながら進められた。大和川に関連する逸話や名所、お祭りなどの文化について、時に即興の詩歌を織り交ぜながら紹介され、集まった人々からは時折笑みがこぼれるなど会場は終始楽しげな雰囲気であった。

人間ドック特別割引の実施



この平成26年4月に営業を開始いたしましたMedCity21は人間ドック等を中心とした健診施設として、皆様のお支えのもと少しずつではありますが軌道にのってまいりましたこと深く感謝いたします。当施設では同窓生の皆様の健康に寄与させていただければとささやかにありますが人間ドック受診の割引を実施させていただきます。

- ①特別割引対象コース
MedCity21の人間ドック(4コース)と専門ドック(4コース)の自費人間ドックのみ。
※健康保険組合等で補助金を利用して受診する人間ドックは対象外になります。各種補助金を利用して人間ドック受診をご希望の際はお問い合わせください。
- ②特別割引料金
3,000円(一律)
- ③お申込方法
電話番号06-6624-4011(予約専用電話)へご連絡ください。
※大阪市立大学全学同窓会会員であること、「お名前」・「卒業年度」・「卒業学部」をお伝えください。同窓会事務局へご本人確認後に改めて予約確定のご連絡をいたします。

人間ドックコースの詳細な内容や施設の詳細は「MedCity21」ホームページをご覧ください。
URL <http://www.medcity21.jp/>

皆様の健康のお手伝いをさせていただきたく、職員一同お待ち申し上げております。

MedCity21
大阪市立大学 医学部附属病院
先端予防医療部附属クリニック MedCity21
〒545-6090 大阪市阿倍野区阿倍野筋1-1-43
あへのハルカス21階
お問合せ 電話：06-6624-4010
FAX：06-6624-8212
(受付時間：月～土 9:00～17:00)
(休診日を除く)

大阪市立大学同窓会・有恒会全国支部 連絡先一覧

Table with columns: 国内・支部名, 役職, 氏名, 学部卒年, 連絡先(TEL). Lists various branches like 北海道支部, 東北支部, 東京有恒会, etc.

Table with columns: 海外・支部名, 代表者氏名, 学部卒年, 連絡先(メールアドレス). Lists international branches like 上海支部, 台湾支部, ジャカルタ支部, etc.

※転勤転居、海外赴任等異動の際は下記有恒会本部事務局か支部連絡先へご連絡ください。

有恒会本部事務局 〒558-8585 大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学内 Tel 06-6605-2087 Fax2088 Email : yukokai@ado.osaka-cu.ac.jp



上海支部(上海友好会)

年代と国境を越え 絆を深める

2014年11月5日、中国・上海市内において、昨年引き続き上海ホームカミングデーを開催しました。

大阪市立大学では、毎年11月に上海で開催される中国最大級の国際工業製品展示会「中国国際工業博覧会」に、上海市教育委員会から招待いただき出展しています。

まず初めに、宮野副学長から最近の大学の様子を報告し、上海友好会の平松会長(商昭57卒)から御挨拶を

賜りました。その後引き続き原田顧問(商昭43卒)から美術部学生の上海芸術展の案内をいただいた後、王副会長(法平12卒)の乾杯の御発声により懇親会がスタートしました。

大阪市と上海市は今年友好都市提携40周年を迎えます。大阪市立大学においても、上海市内所在大学との学術交流が活発に行われています。

海外でも積極的に活動しています



ジャカルタ支部

交流や活動を活発にして 連携を強くする

2014年9月19日、インドネシア・ジャカルタ市内において、大阪市立大学同窓会ジャカルタ支部懇親会が開催されました。

大阪市立大学同窓会ジャカルタ支部は、主にインドネシア・ジャカルタを拠点に現地に駐在している卒業

生を中心に組織されている同窓会で、安藤支部長(生平7卒)の積極的な働きかけにより2013年10月に発足しました。

今回の懇親会は、宮野副学長が大阪府主催の留学フェアへの参加のため、インドネシアを訪れた機会にあわせて開催されました。

今回の訪問を機に、大学と同窓会の方々との連携がさらに強固なものになることを期待しております。



同窓会 支部だより

北海道支部

未だ忘れぬ 関西への思い

本学から桐山副学長をお迎えし、本部は福岡副会長(文昭32)と森本副会長(文昭36)、牧野副会長(経昭44)の3名、全学同窓会から市村副会長、大学サポーター事務局からは荻本事務局長がお越しくださいました。

前日が東北支部の総会ということで、大阪から仙台経由で札幌へお越しいただくツアーとなりました。その行程に合わせて今回は正午集合、ランチをしながらの総会を試みました。

前日に阪神が巨人に4連勝して日本シリーズ進出を決めたこともあり、地元北海道日本ハムファイターズはさておき、大阪最頂で盛り上がりました。

鹿児島支部

発足から6か月 初の総会&同窓会



同窓生12名、大阪から4名、福岡支部から1名の合計17名にて開会。出席同窓生の内訳は、医学部3名、生活科学部3名、商学部2名、看護学部2名、法学部1名、文学部1名で開催されました。

会場には大学旗が掲揚され、同窓会の雰囲気一杯。まずは第1回総会で半数以上の方が初対面の為、出席者の自己紹介が行われ総会の環境が整いました。

その後、宮野副学長からお祝いの言葉が述べられ、変わりゆく大学の様子や現状について説明を受け、同窓生一同も杉本町や阿倍野へ思いを馳せました。

出席者の最古参は女性が昭和36年卒の看護学部の宇住庵さんと黒木さん、男性が昭和41年法学部修士の別府さんで一番の若者は昭和56年卒の満園さんで同窓会を盛りあげていただき、最後は道産歌で締めくくりました。(中村俊久・商昭47卒)

山陰支部

幅広い年代層が集まり 充実のひととき



山陰地区(鳥根県・鳥取県)会員18名が出席する中、ご来賓として全学同窓会会長・児玉隆夫様、有恒会副会長・羽原顕三様、同・牧野忠廣様、大阪市立大学副学長・桐山孝信様、サポーター事務局長・荻本謙二様、の5名をお迎えして、3年ぶりに山陰支部総会を開催しました。

山陰支部は、近年2、3年毎をメドに鳥根県と鳥取県で交互に総会を行ってきていますが、前回(平成23年10月)は有恒会山陰支部創立50周年を記念した総会(「有恒会」から「同窓会」へ名称変更)を開催するなど、歴史ある同窓会組織となっています。

今回は、鳥根県安来市にある「さぎの湯荘」を会場として、昭和31年卒から平成6年卒までの幅広い年代層の同窓生が一堂に会し、最近の鳥根県の出来事や県ゆかりの著名人等の話題紹介、また児玉会長の全学同窓会の現状についての講演や大学の活動状況の話、懇親会などを通じて有意義で楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

なお、総会前には、会場近くにある「足立美術館」(米国の日本庭園専門誌で10年連続日本一に輝く日本庭園を有し、横山大観の収蔵数が多いことで有名)で庭園、絵画を鑑賞し、満足度が高いものになりました。

名残は尽きませんでした。2年後をメドに鳥取県での再会を誓い合い散会しました。

TOPICS 同窓会

看護と国際化をテーマに「よつば会」講演会開催



「よつば会」では、例年講演会を開催している。今回...

商友会主催講演会「大阪を造った五代友厚」

平成26年ホームカミングデー企画として、11月3日(祝)...

「日中友好と上海展覧会」開催のお知らせ
市大美術部『第1回日中大学学生芸術交流展』

工学部同窓会、工学部と共催で講演会開催
工学部同窓会では、工学部と連携して「在学生工場見学会」を実施してきているが、今年よりホームカミングデーに合わせて「工学部新任・若手教授による講演会」...

長兼国際診療科に勤務の長垣智子さんに「異文化の人々と協働する国際看護をテーマにお話したい」...

また、大阪市立保健専門学校44期生で、現在は西成区保健福祉センターで保健師として勤務している長尾尚子さんには、「国際化社会と大阪市の保健師活動」をテーマにお話したい。...

さらに、外国人支援での重要な点として相手の文化的背景を知る事や相手の望む支援と望んでいないが必要な支援を考慮することの必要性をお話したい。...

平成26年度定期総会を開催

11月3日、定期総会がホームカミングデーに合わせて学術情報総合センターで開催された。平成26年度の活動計画は次の通り。

- 1 広報・PR、協力要請活動
① 全学同窓会会報紙の発行(年3回、1.5.9月)
② ホームページの開設・充実
③ 各支部総会への出席、PR、協力要請
④ 在学生へのPR活動
2 在学生支援
① 就職支援・進路相談
若手OBとの交流会等...公務員、教員、民間
② 国際力強化支援
海外支部との連携協力...留学等海外支援
③ 公開講座支援
(商経講座、理工系講座支援)
3 大学支援
夢基金寄付募集協力等
4 全国各支部同窓会支援
全国24支部へ県別名簿(合計63134件)を提供し、支部活動をサポート

その他、平成25年度決算及び監査報告、平成26年度活動報告(案)並びに予算案、役員改選等の関係議案は全て承認された。最後に、本年度の取り組み案件の一つとして「五代友厚の生誕180周年を迎えて銅像建立計画」が紹介された。

大阪市立大学 医学部の歴史 III

田中祐尾 (医昭44年卒)
我が医学部は昭和30年、市立医大から大阪市立大学に編入され翌年新病館北館が竣工、基礎医学西館も増設され33年大学院開設、36年にがんセンター(南館)が竣工、着々とその施設と...

43年秋、かねて内紛中の医局改革運動が青医連・大学院・一部教員を巻き込んだ教授会との全面対決となる(写真②)。学生教員はストののち、他学の学生、市大厚生学院生徒までを引き入れ基礎医学舎及び一部病院施設の封鎖など所謂大学紛争へと進展する。基礎医学舎の入り口はコンクリートで固められ、内部に立て籠もっていた行動派10数人は赤ヘルメットに白衣を纏い44年9月22日夕刻附属病院北館東北角にあった旭町一丁目派出所を襲撃、火炎瓶により炎上させた(写真③)。医学部学生はその後必死で白衣姿は自分たちでなく終末を迎え、医局制度そのものに大きな後遺症を残すが、表面上は何ら著変無く、全大阪市の医療拠点として益々巨大化する大学附属病院は平成4年に前記施設のすべてが現在の18階※大阪市立大学医学部の歴史は今改めて終了となります。

編集後記
同窓会は3年目に入る。「冠」を大阪市大同窓会に代える支部が増えつつあり、全学ベースの基点として間もなくスタートする同窓会館に期待したい。「新・公立大学大阪モデル」が策定された。大阪府大との共同作業であり、今後の更なる連携強化を目指す。(編集人)

内容に充実の一途をたどる。元もと大阪市南部の医療拠点として多くの患者が訪れ、外来入院共大正14年以降の本館と北館での対応が限界を超えつつあった。市議会は第二新館(東館)増築の予算を計上。42年に最先端医療を目指す東館が竣工し市民の切望に応えた(写真①)。

大阪府大との共同作業であり、今後の更なる連携強化を目指す。
(株)ブライダルは大阪市立大学同窓会の皆様の「結婚」を応援します。
37年の実績
大阪市立大全学コース
登録料 50% OFF
●ブライダルコース ¥226,800 ▶ ¥210,600 etc.
●エクセレントコース ¥388,800 ▶ ¥372,600 etc.
http://www.bridal-vip.co.jp
0120-415-412